日刊 動労千葉
'79.2.6
No. 26
国鉄動力車労働組合
千葉地方本部
千葉市要町二-八（動力車会館）
（鉄電）二二五八～九（公衆）〇四三(22)七二〇七

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

本部は、直ちに「水本」運動を中止すべきだ

一年前の「水本」をまたもや持ち出す！

中央本部は、「水本事件の真相を究明する会」と「水本事件弁護団」の共催による「二・一〇水本君死体スリカエ二周年ー権力犯罪を告発する国民大集会」に積極的に取組むとして電話連絡してきた。

この「水本」問題が動労内に持ち込まれたのは、一昨年の「一〇・二三集会」への「全国動員」という一片の指令のみであった。

そして、その後、動労本部は、「水本問題」を八〇年代労働運動を展望する中心課題に位置付けた。

「水本」は、革マル派のみの運動

しかし、その後、東大、茨城大、大阪総評オルグなど革マル派活動家への内ゲバ襲撃事件をつぎつぎと「水本」＝「反謀略」の延長上にとり上げるという経過を見れば、明らかに、この「水本問題」を主張している者が、革マル派とその同調者のみであることは、もはや周知の事実である。

わが千葉地本は、この「水本問題」に対する批判と疑問点を当初より主張し、昨年の第三四回全国大会においては、多くの代議員が同調するに至ったのである。

「水本」か！三里塚・ジェット闘争か！

革マル派とこれに同調する動労内一部反動分子は、一年前の「水本問題」をまたもや動労内に持ち込み、全国動員を強要し、もって、わが千葉地本の組織的排除ー破壊攻撃を一層強めている。

彼ら動労内革マル分子は、「冬の時代」「水本ー謀略」さらに、「貨物安定輸送宣言」「三里塚敵対」など闘う動労の伝統をねじまげ、「水本」運動のみ動労運動に変質させようとしている。

われわれは、今こそ、「水本問題」の反動性を全組合員がつかむと同時に、中央本部が二・一〇「水本」集会への強制動員を直ちに中止することを訴える。

そして、この闘いを突破口として、わが動労運動の戦闘的・階級的再生にむけて、動労の大改革運動を一層推し進めよう。

第一一回 地本囲碁・将棋大会開かる

一月二七日、一〇時より動力車会館にて「第一一回地本囲碁・将棋大会」が開かれた。地本文化部長・林執行委員の挨拶をうけ、篠塚会長（幕張支部）より大会運営についての説明ののち各クラス別にリーグ戦に入り、一五時すぎまで熱のこもった試合が展開された。

成績

一、囲碁の部

Aクラス	一位	深見　四郎	（津田沼）
	二位	加藤岡　英夫	（幕張）
	三位	大木　常男	（成田）
Bクラス	一位	木村　勇	（幕張）
	二位	高梨　博文	（津田沼）
	三位	斎藤　吉司	（津田沼）

二、将棋の部

Aクラス	一位	小幡　重三	（蘇我）
	二位	秋葉　収司	（津田沼）
	三位	飯田　績	（館山）
Bクラス	一位	小山　章	（千葉転）
	二位	立崎　仲司	（千葉転）
	三位	川口　春男	（津田沼）

5項目の解明要求

（地本組織26号・27号）

一、千葉地青三役への〝権能停止〟処分弾劾！
「関東青年部発第一一号」を撤回し謝罪せよ！
「動力車新聞一二六六号」
規約違反の責任者、今泉関東地評議長・村上関東青年部長は責任をとれ！
二、千葉地本を「敵」「裏切り者」よばわりする本部青木書記長は自己批判し、発言を撤回せよ！
三、「千葉地本再建・・・」を公言する本部城石組織部長は自己批判し、発言を撤回せよ！
四、千葉地本への悪質なデマ・中傷をつらねた『青年部学習文庫№2』を全面回収し、謝罪せよ！
五、一月三一日　二月一日の水上町に集合した「指令なき集団」（動労組合員）の動向とその全事実を公表し、組織的処置を明確にせよ！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！